

船舶事故等調査報告書

平成25年4月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012神第204号
事故等種類	衝突（岸壁）
発生日時	平成24年10月22日 13時25分ごろ
発生場所	福井県敦賀市敦賀港第1区 敦賀港 ^{まりやま} 鞠山防波堤仮設灯台から真方位108° 1,465m付近 （概位 北緯35°40.5′ 東経136°04.5′）
事故等調査の経過	平成24年12月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	液体化学薬品ばら積船 第二 ^{えい} 英華丸、499トン
船舶番号、船舶所有者等	141230、株式会社三谷海運
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	本船 右舷船首部ハンドレールに凹損 岸壁 なし
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、低気圧の通過を待つため、空船で敦賀港の鞠山北岸壁に右舷着けの着岸作業中、平成24年10月22日13時25分ごろ、風潮流に圧流され、右舷船首部が同岸壁に衝突した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南東、風力 4、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の末期
その他の事項	船長は、敦賀港に入港するのは初めてであった。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	あり
判明した事項の解析	本船は、敦賀港の鞠山北岸壁に右舷着けの着岸作業中、風潮流に圧流されたことから、右舷船首部が同岸壁に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、敦賀港の鞠山北岸壁に右舷着けの着岸作業中、風潮流に圧流されたため、右舷船首部が同岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・空船時は、風の影響を受けやすいので、操船に注意すること。 ・低気圧の通過が予想される場合、港外の安全な海域に錨泊すること

	とも考慮すること。
--	-----------